

21. 右上縦隔リンパ節転移陽性左肺癌症例に対し、 左肺全摘・上大静脈置換術を要した1症例(第139回 日本肺癌学会関東支部会)

著者	有田 宗史, 斎藤 紀子, 大谷 真一, 長谷川 剛, 佐藤 幸夫, 遠藤 俊輔, 蘇原 泰則
雑誌名	肺癌
巻	44
号	3
ページ	196
発行年	2004-06-20
権利	日本肺癌学会
URL	http://hdl.handle.net/2241/00134137

21. 右上縦隔リンパ節転移陽性左肺癌症例に対し、左肺全摘・上大静脈置換術を要した1症例

自治医科大学呼吸器外科

有田宗史、齋藤紀子、大谷真一
長谷川剛、佐藤幸夫、遠藤俊輔
藤原泰則

症例は58歳女性、左下葉原発の腺癌で左肺門から傍大動脈・右上縦隔にかけて顕著なリンパ節腫脹を認め、T2N3M0と診断し化学療法を施行した。CDDP+VNR、CDD+GEM、CDDP+DTXで計3コース施行しNCであった。右下側臥位にて左肺全摘後、仰臥位にて腫大した上縦隔のリンパ節を上大静脈と一塊にして摘出した。上大静脈は人工血管で両側腕頭静脈からバイパスした。病理病期T2N3M0。術後1年再発の兆候はない。